

# ごみの減量 基本を確認してみませんか



いつもごみの減量にご協力ありがとうございます。ごみの減量のためには、買い物、調理、ごみの分別、生ごみの捨て方がポイントになります。その基本を確認してみましょう。

## 1 減量は買い物から

いらぬものは断る。ごみが出ない、ごみにならない商品を選ぶ。エコ商品や再生品を積極的に購入する。必要以上に買すぎないなど、買い物時のちょっとした工夫で、ごみの減量が可能です。

- レジ袋を断り、マイバッグを使う
- 包装はできるだけ少ないものを選ぶ
- 長く使えるような商品を選ぶ
- 洗剤やシャンプーは詰め替え製品を選ぶ
- 再生品を選ぶ（再生紙のトイレットペーパーなど）
- トレイなどはお店に戻す
- 家電などは省資源、省エネルギーなものを選ぶ
- エコマークなどの環境ラベルの有無をチェックする

## 2 分別でごみは資源に生まれ変わる

### まずは再使用

再使用（リユース）とは、特殊な加工をせずに、そのままの形で使用することです。例えば、チラシの裏側をメモに使う。古くなったタオルをぞうきんにする。空き箱や空き缶を小物入れとして使うなど。

### 分別で資源化が可能に

収集された資源は、紙布類はそのまま売却し、これ以外の資源ごみは専門の業者によって加工され、新たな資源として再生されています。

### 雑誌や厚紙はリサイクル可能

雑誌や厚紙、牛乳パックは、資源としてリサイクルが可能です。可燃ごみとして細かくちぎって出しているティッシュペーパーの箱や菓子箱なども厚紙の資源ごみです。しっかり分別して資源として出してください。

## 4 調理も大切なポイント

作りすぎない。食材を丸ごと使いきる。野菜は、食べられる量を盛り付ける。冷蔵庫の中をチェックして、残っている食材やおかずで調理するなどの工夫で、ごみの減量はもちろん、食費の節約も可能です。



## 3 生ごみの捨て方次第で減量は可能

可燃ごみの約半分（重量比）は生ごみです。生ごみは水分を多く含んでいますので、ごみとして出す前に、生ごみの水分をしっかりと絞るだけでごみの減量が可能です。

同時に、水分を絞ることは、悪臭や腐敗の防止にもなります。ご協力をお願いします。

6 環境生活課 ☎ 820・560



- ▽受付日  
平日、第2土曜日
- ▽受付時間  
午前9時～11時半、午後1時～4時
- ▽持ち込み時に必要な物  
運転免許証、健康保険証など

## 環境センター ごみの持ち込みが可能

熊野町と東広島市黒瀬との境の県道矢野安浦線沿いにある環境センターは、町民の皆さんが、自主的に、家庭から出るごみ（生ごみを除く）を持ち込むことができます。ごみステーションに出される時と同様に、あらかじめ分別をして持ち込んでください。

# リサイクル率26.7% 県内で5番目

（平成21年度実績）

## 平成21年度ごみ量の報告

町民の皆さんが、平成21年度に排出されたごみの総量は7千866tで、平成20年度に比べ5.8%の増となっています。これは、平成21年4月から施行した、新聞、雑誌などの資源ごみのごみステーションからの持ち去りを禁止し、罰金を科す条例の効果が表れ、紙布類を中心とする資源ごみが約540t増えたためで、資源ごみを除くごみ（可燃ごみ、大型ごみなど）の排出量は、6千274tで、平成20年度に比べ1.7%の減となっています。

また、町民一人1日当たりのごみの排出量は、839g（県平均897g）で、リサイクル率26.7%（県平均23.9%）、県内23市町中5番目に高い率になっています。これは、町民の皆さんが、ごみと紙布類やプラマークプラ、缶、びんなどの資源の分別をきちんとするということご尽力によるもので、心から感謝します。

また、町では町民の皆さんに資源1として出しているだけでなく、新聞紙、雑誌、広告チラシ、厚紙などの紙布類を、資源ごみ買取業者に売却しており、約620万円の売却益が得られています。ごみステーションから処理施設への収集運搬委託料や可燃性ごみの焼却を安芸郡4町で共同処理している安芸クリーンセンターの負担金などのごみ処理経費は、2億7千700万円で、平成20年度比6.5%の減、町民一人当たり約1万800円の負担となっています。

## ごみ排出量とリサイクル率の比較

|                    | H20年度                | H21年度                | 比較               |
|--------------------|----------------------|----------------------|------------------|
| ごみ排出量<br>（資源ごみを除く） | 7,438 t<br>(6,385 t) | 7,866 t<br>(6,274 t) | 5.8%増<br>(▲1.7%) |
| リサイクル率             | 21.6%                | 26.7%                | -                |

## エコステーション について

役場庁舎に設置してあるエコステーションの空き容器回収処理機（空き缶・空きペットボトル回収処理機）は、現在、故障が頻繁に起きており、いつ壊れてもおかしくない状態です。壊れた場合は、修理する部品がないため、現在、存続または中止（廃止）について検討しています。ご理解とご協力をお願いします。



いつもマイバッグを持っています（町内のスーパーで）

## 東京ドーム17杯分のCO<sub>2</sub>削減 ～マイバッグで、地球の未来を守りませんか～

平成21年10月から始まった、レジ袋削減を目指す町内6事業所との協力による、マイバッグ持参運動の取り組みも1年が経ちました。平成21年度の実績をお知らせします。

※（ ）内は広島県の実績

|                      |   |
|----------------------|---|
| レジ袋削減枚数              | 106万枚<br>(9,704万枚)                                    |
| 石油の消費抑制              | 19.41kl<br>(1,776kl)                                  |
| CO <sub>2</sub> 排出抑制 | 41.37 t CO <sub>2</sub><br>(3,785 t CO <sub>2</sub> ) |